

滋賀県における物流に係る 取組について

滋賀県 商工観光労働部
企業誘致推進室

物流業界を 取り巻く状況

- ドライバー不足の深刻化
- 「多頻度小口配送」の増加
- 長時間労働の改善と働き方改革

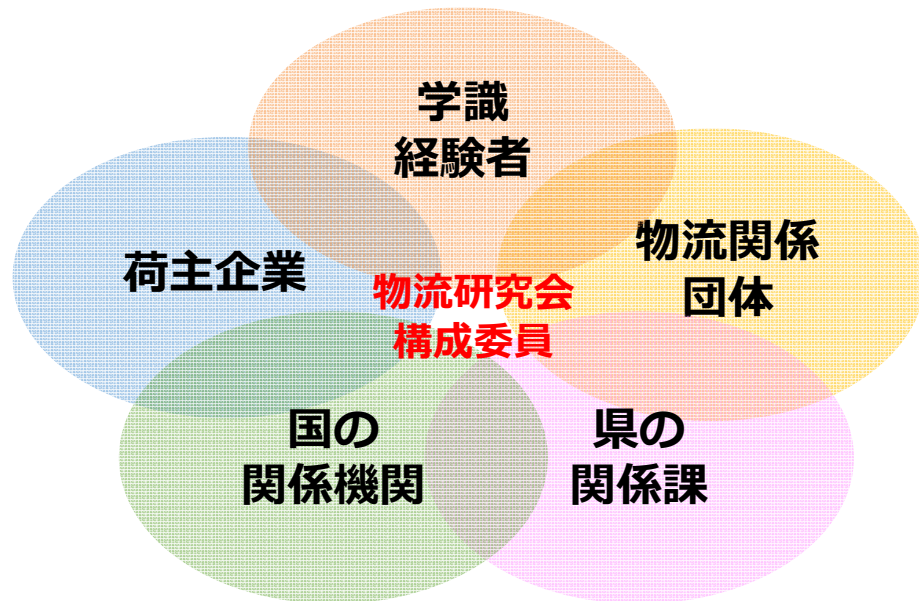
【課題】

- 物流事業者：ドライバーの高齢化の進展、人材不足、リードタイムの短縮化
- 荷主企業：長距離輸送やピーク時におけるトラックの安定的な確保

滋賀県下における安定した物流環境の確保が必要
課題やニーズに対応する取組が必要

滋賀のモノづくりを支える物流研究会（平成28,29年度）

- 県内におけるモノづくりを支える物流の課題等の整理
- モノづくりのさらなる発展に向けた物流の基本的な方向性等の研究



平成29年3月設置（28～29年度：5回開催）

【研究にあたっての論点】

1. ドライバー人材不足への対応
2. 物流業務の効率化・高度化
3. 物流環境の整備

【取組の基本方向】

- 安心してモノが運べる物流環境づくり
- 物流効率化・高度化による地域の物流ストックを活かした「地産地送」の推進

アンケート調査



ヒアリング調査

【課題がある荷物の概要を把握】

《調査概要》

- 期間：平成30年11月8日～12月28日
- 対象：県内317事業所
- 方法：E-mail及びFAXによる配布・回収
- 有効回答：42件（回答率：13.2%）

県の取組に「関心あり」と回答

42社中20社（47.6%）

【物流課題や支援ニーズ等を把握】

《調査概要》

- 期間：平成30年12月下旬～
- 対象：アンケート回答企業のうち、県事業に関心を持つ荷主企業を中心に実施
- 方法：企業を直接訪問
- 実施件数：30年度10社、元年度22社（累計32社）

具体の課題やニーズを深掘り

【課題】

- 年間を通してトラックの確保が困難、特に長距離路線で苦戦
- 繁忙期には、やむを得ず県外業者や鉄道等での輸送で対応
- トラックが確保できない場合、顧客との納期調整

【支援ニーズ】

- 安定してモノを運ぶことができる物流環境の整備（※トラックを確保できる仕組み）
- 県内事業者との出会い・紹介



【新しい物流に係る取組への期待】

- ① 新たな仕組みづくりによる効率的な運送スキームの構築
- ② 帰り便を活用した輸送手段の確保と効率的な配送
- ③ 荷主企業、物流事業者の間で情報交換が出来る場の創設

【具体の取組内容】

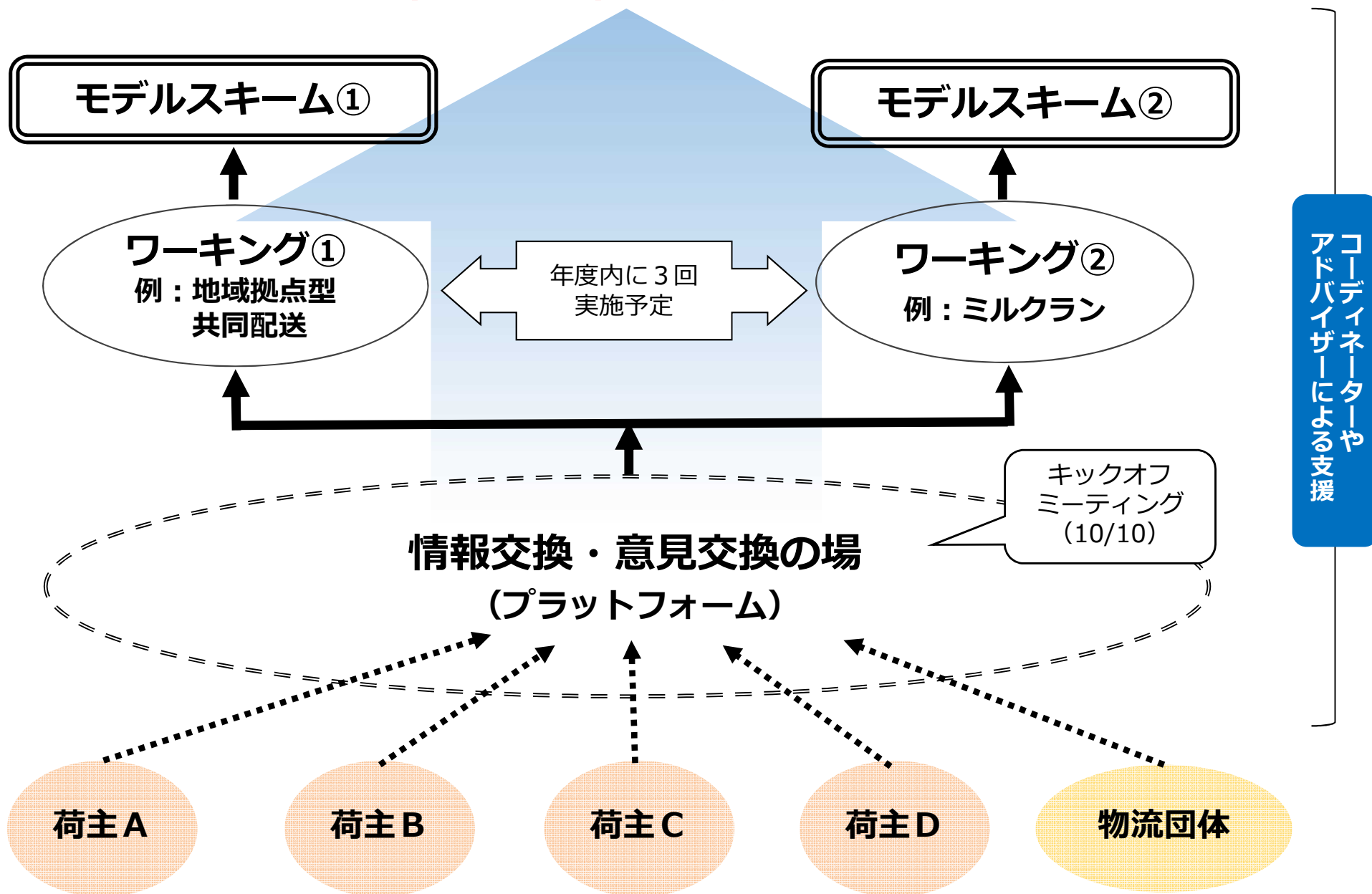
1. 荷主企業と物流事業者の協議の場づくり（＝プラットフォーム）
2. 物流効率化・高度化モデルの構築

取組にあたってのルール

- ピーク時等に安定して運ぶことができないなど、課題のある荷物（例：残荷の発生、県外事業者へ委託等）への対応に限定
- 物流事業者における労働環境の改善（長時間労働の削減、労災リスクの軽減、運賃の適正化等）への意識

物流効率化に向けた具体的取組（令和元年度～）

実証実験（令和2年度）に向けてスキームを構築



物流効率化に向けた具体の取組（令和元年度～）

2つの物流効率化スキーム（案）

地域拠点型共同配送

ミルクラン型

- 拠点倉庫で複数社の荷物を積み合わせ、実車率を上げて配送

- 近接エリアや工業団地を回り（集荷）、実車率を上げて配送

